

## 日インドネシア物流政策対話 議事概要

### 〈両国の物流施策について〉

- 国土交通省より、総合物流施策大綱の概要等を紹介し、物流を取り巻く環境変化や対策等を説明した。
- インドネシア運輸省より、デジタル化の推進やポートオーソリティの機能強化等の物流業務改善に向けた取組について説明があった。また、港湾作業の効率化や環境問題への対応のため、港湾周辺の物流インフラ整備状況及び計画等の説明があった。

### 〈インドネシアにおける物流課題について〉

#### (1) ジャカルタ首都圏地域の交通渋滞の改善について

- ・ 国土交通省より、ジャカルタ首都圏地域の渋滞緩和に向け、高速道路の建設状況や開通の見通し、今後のインフラ整備計画について質問したほか、交通規制の周知の遅れによる混乱を指摘し、早期周知を要請した。さらに、2023年4月22日及び23日のレバラン休暇に伴う交通規制計画について質問した。
- ・ インドネシア運輸省より、ジャカルタ周辺の渋滞は同国政府内でも問題視しており、渋滞改善のための法整備を実施してきたものの、未だに緩和には至っていないとの認識が示された。高速道路建設等のインフラ整備計画については、公共事業省が渋滞緩和やサプライチェーンの改善のため取組を実施している旨の説明があった。また、交通規制の周知については、同国運輸省等がメディアを通じて遅くとも2週間前までに公開する旨の説明があった。さらに、レバラン休暇に伴う交通規制は現在計画中であり、人流のほか貨物自動車も規制対象として検討中であるとの回答があった。

#### (2) 兼業規制について

- ・ 国土交通省より、インドネシアでは陸上運送業、利用運送業、倉庫業の兼業が規制されているため、一貫した物流サービスを行う上で障壁となっている点を指摘し、物流分野における兼業規制に関する考え及び規制緩和の見通しについて質問した。
- ・ インドネシア運輸省より、兼業規制は多くの省庁が関係しているため、規制緩和の可能性については関係省庁と協議する旨回答があった。

### 〈コールドチェーン物流について〉

- 国土交通省より、コールドチェーン物流サービスの標準化の意義や関連規格の概要、インドネシア国内における実証輸送結果等について紹介するとともに、輸送及び保管を含むコールドチェーン物流規格の策定や関係省庁間の連携の必要性を説明した。インドネシア運輸省から、実証輸送において明らかになった課題について複数の質問があったほか、国家標準化庁から、JSA-S1004の認証機関及び審査方法についての質問が挙がる等、コールドチェーン物流分野の標準化についての関心の高さが伺われた。
- コールドチェーン物流分野の国家規格策定を主導する技術委員会（NTC55-02）の議長より、技術委員会のスコープや規格の策定スキーム等の紹介のほか、BtoC分野におけるコールドチェーン物流サービスに関する国家規格が、2022年6月にISO23412をベースにして発行された旨説明があった。国土交通省からは、BtoB分野における国家規格の策定の見通しについて質問し、国家標準化庁より、ISO/TC315の進捗次第では国家規格に導入することを検討する旨回答があった。